

**JForest**

# 森林組合だより

令和3年 3月31日

発行

第 133 号



## 林業大学校生インターンシップ ～新山松林での造材作業の様子～

本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141(代) FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール [honmori@trad.ocn.ne.jp](mailto:honmori@trad.ocn.ne.jp)

## 第26回 造林コンクール受賞者発表



### ◆ 最優秀賞 (由利地域振興局長賞)

収穫間伐の部 小国自治会  
会長 佐藤 誠 氏 (仁賀保地区)

### ◆ 優秀賞 (由利森林管理署長賞)

収穫間伐の部 慶祥寺  
住職 矢萩 宗一 氏 (由利地区)

### ◆ 優良賞 (県森連会長賞)

枝打ちの部 新所下組同盟  
代表 土田 喜和 氏 (矢島地区)  
収穫間伐の部 石綿喜代隆 氏 (東由利地区)

### ◆ 入賞 (森林組合長賞)

枝打ちの部 石脇牧野農業協同組合  
代表理事 石崎 秀雄 氏 (本荘地区)  
収穫間伐の部 齋藤新治郎 氏 (仁賀保地区)

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、表彰授与式は中止となりましたが、審査は例年通り執り行い、2部門6点が入賞し、受賞者は左記のとおりとなりました。  
各受賞林分の審査評は下記のようになっております。  
最終ページに受賞林分の写真を掲載いたしましたのでご覧ください。

## 審査評

### 最優秀賞 小国自治会 会長 佐藤 誠 氏 (仁賀保地区)

形状比\*が85と高いが、過去の保育作業によりバランスの良い林分となっており、雪害の危険性も少ない。路網状況も良好で傾斜も緩いため搬出効率が高い点も高評価に繋がった。

\*形状比：樹木の管理指標の一つで、樹木の高さを胸高直径で割った値。70未満が理想とされており、これ以上であると風や雪の被害を受けやすいことを示している。

### 優秀賞 慶祥寺 住職 矢萩 宗一 氏 (由利地区)

50年生で既に3度の収穫間伐を行っており、適切な林分管理の結果と言える。通直で生長が良好な林分であるが、用材比率が28%と低く、適切な仕分けが必要である。

### 優良賞 新所下組同盟 代表 土田 喜和 氏 (矢島地区)

林分の地理条件が良く、枝打ちも適切に行われている。地域の林業事業体を活用して丁寧に施業を行っており、枝打ち後の巻き込みも良好。

### 優良賞 石綿 喜代隆 氏 (東由利地区)

成長が良くバランスの取れた林分であるが、形状比が80を超えているため、豪雪地帯であることを考慮すると低くする配慮が必要である。

### 入賞 石脇牧野農業協同組合 代表理事 石崎 秀雄 氏 (本荘地区)

海風が強くと当たる厳しい生育環境のため13年生にしては成長が遅いが、曲がりが少ないため、今後の成長には期待が持てる。

### 入賞 齋藤 新治郎 氏 (仁賀保地区)

河川が横断していることなどにより搬出環境が厳しい中、自力で間伐を行った点が高く評価された。用材比率が86%と高いが、少面積なため材積が少ないことが懸念される。

# 令和2年度 林業グループ実績発表コンクール

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面での開催となり、本荘由利森林組合林業研究会では、「森林GISを用いたスマート林業の実現」をテーマに活動した実績を報告いたしました。

現在の林業は国の成長産業政策の中で大きな期待を寄せられている反面、人手不足などの要因から、「作業の効率化」や「費用の削減」が求められています。一方で、ITの技術は大きな発展を遂げており、課題解決のためにはこれらを活用した林業振興が不可欠となってきました。

このような状況から、農林水産省は林業成長産業化総合対策「スマート林業構築推進事業」においてITを活用した施業集約化、森林情報の高度化・共有化、森林作業システムの高度化などの推進方針を示しています。

そこで我々は、対策の一つとして、森林GISを用いた森林情報の一元管理及び共有化を図る取り組みを実施しました。

実際に山を測量し、その結果をパソコンに取り込んで地図情報に反映させることで、従来の紙ベースでの情報管理からの脱却、インターネットを介して所有者が気軽に持山の情報を確認できる環境の構築など、ITを最大限活用した展開についての構想を紹介いたしました。

審査の結果、活動の開始直後ということもあり、十分なデータの収集ができなかったことや継続性の観点

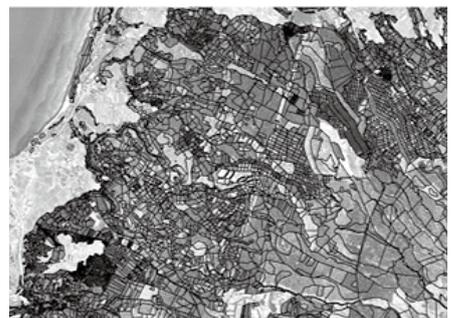
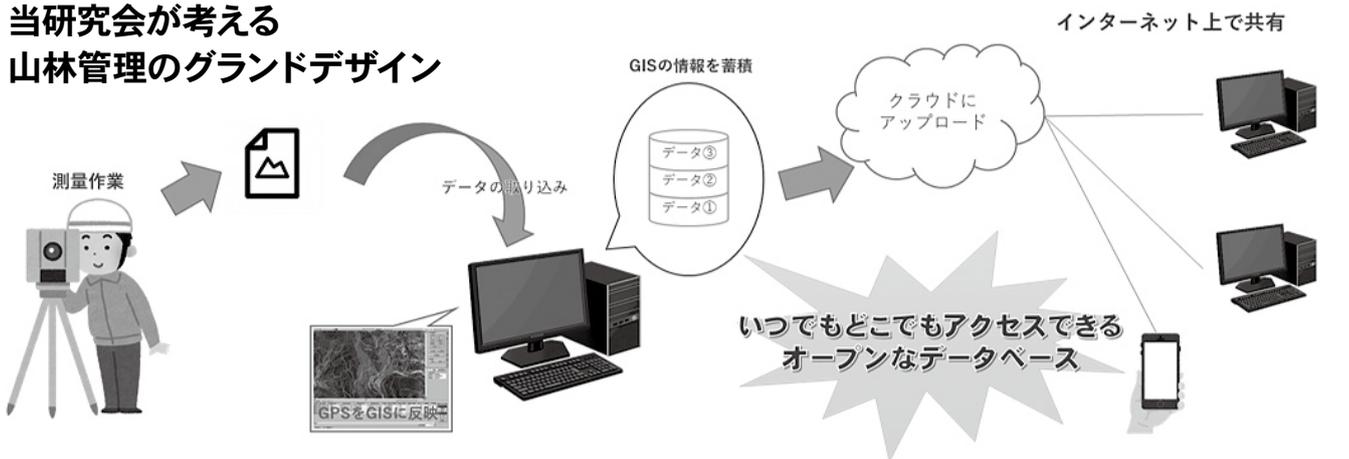
から、残念ながら選外となりましたが、「森林資源や所有者情報など森林施業を進めていく上で欠くことのできないもので、森林所有者が代替わりし、自分の所有する森林の場所もわからないという人がこれから多くなると見込まれるので、後継者となる人へ所有森林を託すためにも森林情報の整備を進めていただきたい」との評価をいただき、これをバネに今後の展開に結び付けていきたいと思っております。

今回参加した各団体の審査結果とテーマは左記の通りです。

- 優秀賞 FW. OGACHI  
「UAV<sup>\*1</sup>による空中撮影と森林解析」
- 優良賞 白神森林組合  
「境界明確化事業への取り組み」
- 次点 本荘由利森林組合林業研究会  
「森林GIS<sup>\*2</sup>を用いたスマート林業の実現」

\*1：無人航空機 (Unmanned Aerial Vehicle) の略称。ドローンとも呼ばれる。山林の調査・測量や苗木の運搬等への活用が期待されている。  
\*2：地理情報システム (Geographic Information System) の略称。林業では、森林基本図や森林簿等の情報をデータ化し、林地の所在や面積等を把握するために利用されている。

## 当研究会が考える 山林管理のグランドデザイン



# 林業大学校生インターンシップ (2回目)

1月25日(月)～2月5日(金)までの期間、秋田林業大学校の生徒1名がインターンシップ研修を行いました。

11月にも当組合で現場管理と事務作業を経験していただきましたが、今回は現場での造材や伐倒の作業をメインに行っていたいただきました。現場を担当する林業事業者の方々にもご指導いただきながら、連日作業を行った結果、作業スピードも上がり、チェーンソーを使った作業にはすっかり慣れた様子でしたが、本人としては、刃の目立てや安全衛生に対する配慮はまだまだ不十分だったと感じたようです。

また、寒波が続いた時期の外での作業ということもあり、体力不足を実感し、日々の体力づくりも意識したいと感想を述べていました。

指導に当たった職員からは、連日の外での作業で、悪天候の中でも積極的に動き、徐々に作業にも慣れてきていたので、その感覚を忘れずに、これからの活動に活かしてもらいたいとのことでした。

今回の研修で学んだことや、現場作業での課題に対して自分なりの答えを見つけて、今後の学校生活に取り組んでいただければ幸いです。



## 矢島高校キャリアガイダンスに参加

2月16日(火)に秋田県立矢島高校で1、2年生を対象としたキャリアガイダンスが開催され、森林・林業をアピールするため、当組合も参加させていただきました。

森林組合という組織の概要から、各部門がどういった役割を持って、どのような仕事をしているかを実際の映像を交えながら説明いたしました。特に国や世界の政策に絡んだ取り組みについては、多くの生徒が熱心にメモを取りながら話を聞いていました。

森林組合は所属する組合員のために事業を展開するだけでなく、自然環境の保護や災害の防止といった、社会貢献にも大きな役割と責任を担っている組織だということが少しでも理解していただけたなら幸いです。

高校生にとって、普段はあまり目が届かない業界でもありますし、進路がまだはっきりと定まっていない方も多いとは思いますが、こういった機会に林業を取り巻く世界や国内、地域の取り組みについて、興味・関心を持っていただけるよう、将来の選択肢として加えていただけるように、我々も広報活動に力を入れなければと強く感じました。



## 秋田県森林組合新人職員研修

2月17日(水)秋田市中通の「イヤタカ」にて、秋田県森林組合新人職員研修が開催され、当組合から事務職員7名、技能職員5名が参加いたしました。

秋田県の森林・林業の概要から、社会人としての常識・マナーについてもご講義いただき、最後には「秋田県の森林組合における目指すべき姿について」をテーマに、他の森林組合職員も交えてグループディスカッションを行い、話し合った内容を発表しました。その中で、国内では森林の公益的機能を保つために、再造林が推進されていますが、様々な理由から再造林に消極的な森林所有者が多く、そういった方々の理解を得るための取り組みが必要であるという意見があり、多くのグループが同調していたようです。

自分が属する業種の基礎知識や一般常識だけではなく、こういった機会に、同じ県内の各森林組合と交流することも仕事を円滑に進める上で非常に大切なことだと思えますので、この繋がりを断つことなく全県の森林組合一体となって秋田県の林業に力を注ぐことを決意を新たにいたしました。



# 秋田県立図書館への寄贈品に当組合の木材を提供



2月12日(金)当組合の提供した木材で作られた木製テーブルが秋田県立図書館に贈られました。

これは、農林中央金庫秋田支店の地域貢献活動の一つで、当組合で材料となる秋田スギ材を提供し、秋田県立由利工業高校の生徒が製作したものです。

本荘由利管内で伐採された樹齢50、60年の秋田スギの中から年輪幅が均一で、木目が美しく、節のない良質なものを選んで提供いたしました。

製作期間は3ヶ月に及び、製作に携わった生徒は「コンクリートにはない、木のぬくもりがあるので、使う人の気持ちを考えて丁寧に作った」と話していました。

贈られたテーブル2台は、図書館の2階に設置され、新刊や注目の本が並べられています。

## 令和2年度 森林組合理事研修会

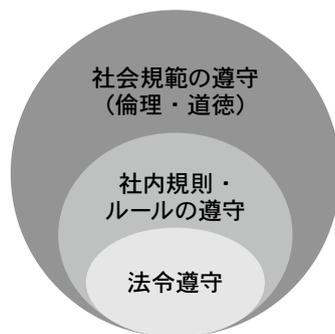
2月25日(木)、秋田市中通「イヤタカ」にて森林組合理事研修会が開催され、当組合からは10名の理事が参加いたしました。

研修会は秋田県森林組合連合会会長の挨拶から始まり、続けて「森林組合におけるコンプライアンス」と題し、農林中央金庫秋田支店副支店長の宮城守秀氏にご講義いただきました。

森林組合という組織の中での役員(理事及び監事)の役割とはなんなのか、その役割を果たすために必要なコンプライアンス(法令遵守)の意識とは、不正・不祥事はなぜ起こるのか、それを防ぐためには、といった組合に限らず企業を経営する上で避けて通ることのできない課題に関して、役員同士の相互監視機能を徹底することや組織内を俯瞰して見ることができる人材の役員登用等、組織の自浄作用が肝要であること。また、コンプライアンスというのは時代によって常に変化するものなので、ダーウィンの進化論「強者や賢者が生き残るのではなく、変化に最も適応した者が生き残る」になぞらえて、社会的要請・期待・信頼の変化に適応していく柔軟さが信用・ブランド、そして組織を守ることに繋がるということを今回の講義で再認識いたしました。

最後にテレビやラジオ等で活躍する詩人・エッセイストのあゆかわのぼる氏から「秋田弁の楽しさを伝える川柳をたしなむ」というテーマでご講演いただき、郷里の文化に触れ、本年度の研修会を終えました。

役員一同、今回の研修で得た知識をこれからの組合経営に活かし、健全な組織の構築・運営に努めていきたいと考えています。



### 退職者のお知らせ

令和2年12月31日付

【技能職員】  
林産販売課

小川 彰 典

長い間ご苦勞様でした。今後益々のご活躍とご健勝をお祈りいたします。

### 賦課金納入のお願い

賦課金納入時期が過ぎておりますので、未納の方はお早めに納入をお願いいたします。納付は組合本所・支所及び下記の金融機関へ納入下さいませようお願いします。

#### 【取扱金融機関】

秋田しんせい農業協同組合各支店・羽後信用金庫各支店  
秋田銀行管内各支店・北都銀行管内各支店



# 木材市況情報 (令和3年)

単位：円、上段（石当り価格）  
下段 m 当り 価格

樹種	材長 m	径級 cm	1月8日			2月2日			3月2日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	14下									
		16~22	(3, 155) 11, 361	(3, 118) 11, 225	(3, 141) 11, 311	(3, 249) 11, 699	(3, 183) 11, 461	(3, 219) 11, 591	(3, 278) 11, 802	(3, 200) 11, 521	(3, 240) 11, 665
		24~34	(3, 400) 12, 241	(3, 340) 12, 026	(3, 381) 12, 174	(3, 549) 12, 779	(3, 499) 12, 599	(3, 518) 12, 665	(3, 600) 12, 960	(3, 334) 12, 005	(3, 450) 12, 420
出材量・販売量・販売率			405m <sup>3</sup> (1,458石)・405m <sup>3</sup> (1,458石)・100%			207m <sup>3</sup> (745石)・207m <sup>3</sup> (745石)・100%			594m <sup>3</sup> (2,138石)・594m <sup>3</sup> (2,138石)・100%		

1月：各径級ともに引き合いも強く強含みの推移。山形県勢の担当が目立った。  
どの製材所も原木在庫が少なくなっており、しばらくはこの傾向が続く模様。  
2月：山形県勢がほとんど落札。出品量が少なくその分、引き合いも強かった。一本並べは材質次第の取引。他は強含み。  
3月：36cm上は材質が悪く材に見合った取引となったが、それ以外はやや強含みで完売。

## 第26回 造林コンクール受賞林分



収穫間伐の部 **最優秀賞**  
小国自治会会長 佐藤 誠 氏



収穫間伐の部 **優秀賞**  
慶祥寺住職 矢萩 宗一 氏



枝打ちの部 **優良賞**  
新所下組同盟代表 土田 喜和 氏



収穫間伐の部 **優良賞**  
石綿 喜代隆 氏



枝打ちの部 **入賞**  
石脇牧野農業協同組合代表理事 石崎 秀雄 氏



収穫間伐の部 **入賞**  
齋藤 新治郎 氏



森林組合だより 令和三年三月三十一日発行 印刷・頒布印刷